

農林水産大臣表彰・総務大臣表彰を受賞



大向友弘氏、沖久雄氏が農林水産大臣表彰（2020年農林業センサス功績者）を、田中由美氏が総務大臣表彰（令和2年度統計功績者）を受賞されました。このたびの表彰は長年にわたり統計調査に従事し、調査員として調査の円滑かつ正確な実施に貢献した功績が評価されたものです。

受賞おめでとうございます。

津木小学校が和歌山県農業教育賞を受賞しました

津木小学校が第30回和歌山県農業教育賞最優秀賞および知事賞を受賞しました。同賞は県内各地の小・中学校等の児童・生徒が農産物の栽培活動から調理実習や学校給食への活用など、農業の実習体験を通じて自然や生命の大切さを育む食育活動（食農教育）を実践している小・中学校等を表彰するものです。

受賞おめでとうございます。



コスモエコパワー株式会社と協定を締結



3月10日、日本初の風力発電専門企業であるコスモエコパワー株式会社（東京都品川区）と広川町との間で、協定が締結されました。当初は双方の代表が対面して締結式を行う計画でしたが、社会情勢を鑑み、各々の所在地で協定書に署名捺印する形式を採用しました。

この協定は令和3年4月1日から20年間の有効期間をもち、同社が行う風力発電事業の収益の一部が、当町が実施する防犯灯LED化関連の事業に活用されることとなります。

もなか 『稲むら最中』が誕生しました！



広川町では、平成30年度から、わがまち元気プロジェクト「濱口梧陵生誕200年～梧陵さんと広川町の魅力再発見～プロジェクト」に取り組んできましたが、その一環として、このたび新商品「稲むら最中」が完成しました。

この「稲むら最中」は和歌山県立箕島高等学校の生徒4名が考案・企画したものを広川町と吉備湯浅PA「紀州路ありだ」を運営する有田観光物産センター株式会社がタッグを組んで商品化したものです。

去る3月14日には発売を記念して、紀州路ありだにて完成披露イベントを開催し、最中の無償配布や高校生などによるトークショーを行い、利用客に向けてPRを行いました。最中の評判は上々で、用意していた500個は全て配布し、また、販売用として用意していた箱入り100個も完売しました。

今後は、紀州路ありだをはじめ、観光案内所、ふれあい館、ほたるの湯他、各種施設で販売する予定です。

お土産や贈り物にぴったりな広川町の新名物「稲むら最中」。是非一度ご賞味ください。

「稲むら最中」とは？

最中の表面には、逸話「稲むらの火」の象徴である稲むらのイラストが描かれています。

あんの味は、「塩」と「みかん」の2種類です。塩あんは、西広海岸の海水からできた天然塩「稲むらの塩」を使用し、優しい塩味が餡の甘味を引き立てています。みかんあんは、有田地方の特産有田みかんを使用し、みかんの爽やかな風味にみかんピールがアクセントになっています。

パッケージにもこだわりが詰まっています。高校生が描いたかわいらしい濱口梧陵をそのまま使用し、親しみやすい雰囲気に。また、箱全体が絵本のように開き、絵本を読むように「稲むらの火」の物語が楽しめます。

◆価格（税込）

1箱（6個入り）：1,000円

1個売り：170円



紀の国いきいき健康長寿祭シルバー美術展へ

堀順子さんが切り絵を出品しました

耐久生涯大学生として堀順子さんが、紀の国いきいき健康長寿祭シルバー美術展に切り絵を出品しました。

本美術展は、高齢者が創作した美術作品を展示する機会を設けることにより、高齢者の創造力を高め、文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいを推進することを目的に開催されました。

また、令和3年10月30日から11月2日にかけて開催される「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜2021）」美術展に出品するための選考会を兼ねており、堀さんの切り絵がねんりんピック岐阜2021に出品されることが決定しました。

有田南ロータリークラブ様より絵本の寄贈



3月1日、有田南ロータリークラブより広川なかよし子ども園、ポッポ保育園の全卒園児にと、絵本の寄贈がありました。

寄贈された絵本は中川ひろたか作「ともだちになろうよ」で、これから小学校に入学し新しく学校生活をスタートさせる子どもたちにぴったりの1冊です。

多大なるご厚意をありがとうございました。

現地学習会

歴史から学ぶ防災 2020 が開催されました

2月27日（土）広川町役場3階大会議室において、現地学習会「歴史から学ぶ防災 2020」が開催されました。

この現地学習会では、今後の防災に活かすため、6名の講師の方が災害に関する古文書や言い伝え、文化財調査の成果などについて報告を行いました。

当日は多くの方が参加されました。参加者は講演を聞き、文化財への理解を深めていました。



霊巖寺初不動 ～観光資源として多くの人で賑わう～



今年最初の不動明王の縁日である1月28日（木）に毎年恒例の霊巖寺初不動が行われました。

当日は、修験者による護摩だき祈祷が行われ、参拝者は燃え上がる炎に向けて手を合わせ、今年1年の無病息災を祈願しました。

また、初不動は広川町の観光資源としても注目されており、その様子を写真に収めようと県外からも多くの方が訪れています。